

自己評価結果

ひらやす保育園

1. 保育理念

子どもの幸せのため、子どもの権利条約（①生きる権利 ②育つ権利 ③守られる権利 ④参加する権利）を遵守し、人格主義の基本理念（誠実・忍耐・勤勉）と良心を育てる。

2. 保育方針

本園の教育・保育は園児の言語（英語を含む）、情緒、行動、社会性および身体の調和的発達を助長し、望ましい人間形成を目指すものである。

3. 保育目標

- ①情緒が豊かで明るい子ども
- ②よく考え、進んで行動する子ども
- ③仲良く遊び、協力し合う子ども
- ④身体が丈夫で逞しい子ども

4. 本年度に定めた重点的に取り組む事が必要な目標や計画

- ・保育所の特性を活かした保育の質の向上と保護者支援の充実
- ・仕事の効率化を図る

5. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	備考
(1) 建学の精神や教育、保育理念に基づいた保育園の運営状況	A	
(2) 保育園の状況を踏まえた保育目標等の設定状況	A	
(3) 保育園の保育課程、保育方針について保育士間の共通理解	B	
(4) 保育園行事の管理・実施体制の状況	A	
(5) 年間の指導計画や週案などの作成の状況	A	
(6) 遊具・用具の活用	A	
(7) 保育士間の協力的な指導の状況	A	
(8) 乳幼児に適した環境に整備されているかなど、クラス経営の状況	A	
(9) 保育所保育指針の内容に沿った乳幼児の発達に即した指導の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・環境を通して行う保育の実施の状況 ・乳幼児との信頼関係の構築の状況 ・乳幼児の主体的な活動の尊重 ・遊びを通しての総合的な保育の状況 ・一人一人の発達の特性に応じた保育の状況 	A	
(10) 日常の健康観察や、疾病予防のための取組、健康診断実施状況	A	

(11) 事故等の緊急事態発生時の対応の状況	A	
(12) 法定の安全計画や防災計画等の作成・実施の状況	A	
(13) 危機管理マニュアル等の作成・活用の状況	A	
(14) 安全点検や、保育士の安全対応能力の向上を図るための取組の状況	A	
(15) 個別の指導計画の作成の状況	A	
(16) 家庭との連携状況	A	
(17) 管理職の保育目標等の達成に向けたリーダーシップの状況、また多くの保育士からの信頼の状況	A	
(18) 保育園の明確な運営・責任体制の整備の状況	B	
(19) 各種文書や個人情報等の保育園が保有する情報の管理の状況、また、保育士への情報の取り扱い方針の周知の状況	A	
(20) 労働基準法等の各種法令の遵守状況	A	
(21) 保育研究の継続的实施など、指導改善の取組の状況	A	
(22) 園内における研修の実施体制の状況	A	
(23) 園内研修の課題の設定の状況	A	
(24) 園内研修・園外研修の実施・参加状況	A	
(25) 指導が不適切である保育士の状況の把握と対応の状況	A	
(26) 保育目標の設定と自己評価の実施状況 ・乳幼児や保育園の実態、保護者の意見要望等を踏まえた保育園としての目標等の設定の状況 ・目標等を踏まえた自己評価の項目の設定状況 ・自己評価が年に1回以上定期的に行われているかなどの実施状況 ・自己評価の結果の翌年度の目標等の改善への活用状況 ・全職員が評価に関与しているかなどの体制の状況 ・自己評価の結果の設置者への報告と状況	A	
(27) 保育園に対する保護者の意見・要望等の状況 ・保護者の満足度の把握の状況 ・保育相談体制の整備状況、保護者の意見や要望の把握・対応状況	A	
(28) 保育園に関する様々な情報の提供状況	B	

(29) 保育園公開の実施の状況	B	
(30) 乳幼児の個人情報の保護の状況	A	
(31) 自己評価結果の公表状況	A	
(32) 園便りやクラス便りの発行など、主として保護者を対象とした情報の提供状況	A	
(33) 情報提供手段として、ホームページを活用するなど、広く周知するための工夫の状況	B	
(34) 保護者の実情や要望による保育園の子育て支援活動の実施状況	B	
(35) 園や保育士による受け入れ体制の状況	A	
(36) 施設設備 ・施設設備の活用状況 ・施設・設備の安全・維持管理のための整備の状況	A	
(37) 遊具・用具・図書等 ・遊具・用具・図書等の整備状況 ・保育環境の充実のための取組状況	B	

6. 本年度に定めた重点的に取り組む事が必要な目標や計画の考察

結 果	理 由
A	<p>・保育の質の向上 個々応じて、運動遊びや感触遊びを多く取り入れ、5感を刺激するような保育を心掛け、発達を促した。</p> <p>毎月の食育の中で、トマトの栽培を取り入れたり野菜スタンプで制作をしたりと、食に興味を持てる取り組みを行った。次年度も引き続き栽培等を取り入れ、食べることへの意欲の向上を目指したい。</p> <p>・保育環境の整備 ままごと遊びが展開できるよう道具を増やし、それぞれが主体的に遊びに入れるような環境づくりに配慮した。保育でも玩具作りを取り入れ、物を大切にすることへも繋げていきたい。</p> <p>・保護者支援 連絡帳や掲示板などの他、降園の際に子どもの園での様子を伝えるよう心掛けた。また、子ども達の毎月の制作等を観覧できるよう環境改善に努めた。</p>

7. 総合的な評価結果

- ・外遊びで生き物の発見や気温の変化を感じ、食育で素材の匂いや感触を体験し、音遊びや制作等で自由に表現できるよう、五感を刺激しながら身体発達を促す遊びを多く取り入れた。
- ・子どもの安全面を最優先すると、保護者のニーズに対応できないことがあった。保育活動への参加を促進したり、保護者同士が交流できるよう、保護者が子育ての相談をしやすい環境を作っていくたい。

8. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育の質の向上	(制 作) ・ 自発性を引き出すような制作内容と多様な表現方法を導入。 ・ 廃材等を使った玩具作り
避難訓練の見直し	あらゆる想定での避難訓練を計画し、「放送を聞く」「保育士の指示に従って避難する」ことが身につくよう指導する

◎「5. 6」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である